

形成外科学

【目的】

形成外科学は、外表の形態にかかわる先天性異常や熱傷・外傷・悪性腫瘍等による組織の欠損、変形及び機能損傷に対して、主として外科的手段で形態的・機能的な回復・復元をはかり、患者の心身両面での社会復帰を支援する学問である。

形成外科は19基本診療領域の一つとなったが、その普及、認知度には全国的な地域格差がある。特に広島大学ではカリキュラム上、形成外科の講義・実習機会が限られており、他大学に比べ医学生の間でその認知度は低い。少ない講義や実習を通して形成外科に興味を持った学生にとって、その医療現場を垣間見ることは、形成外科のみならず、関連する外科系他科へ興味を持つ学生にとっても有意義な機会となりうる。

【実習の実際】

外来実習

- 1) 形成外科の対象疾患患者について理解する。
- 2) 写真撮影や各種計測・記録や評価法など、形成外科的診察法の基本につき理解する。
- 3) 外来で行っている形成外科の治療法(創処理や術後創処置, 抜糸・抜糸後の後治療, 組織拡張器の拡張), 各種創傷に応じた外用剤・被覆材の選択, 創面の評価方法などを理解する。

病棟実習

- 1) 形成外科入院患者の術前準備, 術後管理方法について学ぶ。
- 2) 植皮術や有茎皮弁術, 再建手術後, 幼小児患者など, 形成外科特有の入院患者の術後管理, 注意点について学ぶ。
- 3) 症例検討会, 病棟総回診で形成外科の各種疾患に対する診断, 治療方法, 形成外科と外科系他科との関わり, チーム医療のあり方について学ぶ。

手術室実習

- 1) 手術に実際に入り, 形成外科手術への参加を通じて理解を深める。
- 2) 外科系医師に必須となる基本的な外科手術手技(特に皮膚縫合手技・縫合材料の選択など)の理解と確実な修得を目指す。
- 3) 形成外科疾患に対する各種の手術的治療方法(形成外科的皮膚縫合法, 植皮や皮弁術, 人工乳房や組織拡張器, マイクロサージャリー, リンパ管静脈吻合術・リンパ管移植術, 他科との共同手術・チーム医療)について学ぶ。

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
外来実習時の行動内容	30
手術実習時の行動内容	30
手術実習時の行動内容	10
提出レポートへの取り組み, 内容	10
教授試問	20

週間スケジュール

	8:30	9:00	12:00	13:00	16:00/17:00
月	オリエン テーショ ン(医局)	手術実習(OP室)	昼 食	手術実習(OP室)	症例検討会 (医局)
火		外来実習(外来)	昼 食	手術実習(OP室)主に乳 房再建	
水		病棟実習(7東)または 教授による講義(医局)	昼 食	手術実習(OP室)主に頭 頸部再建	
木		外来実習(外来)	昼 食	リンパ浮腫外来見学(外 来)	
金	7:30 抄 読会 8:30教授 回診	外来実習(外来)	昼 食	手術実習(OP室)または 教授による講義(医局)	

(医局):臨床管理棟 2階 形成外科医局, (研)臨床研究棟

(外来):外来棟2階形成外科外来(16, 20・21診)

(7東):7階東病棟

(OP):中央手術室

※その他, 空き時間などを利用して適宜講義, 実習を行う。

担当教員

横田 和典 (教授)

永松 将吾 (助教)